

機会あるごとに国に対して要望していく。

競艇専用場外発売場の閉鎖の準備を

問 毎年一億円以上の赤字が続く川崎町の専用場外発売場の収支状況と長期的な見込みはどうか。財政面での寄与がなければ、閉鎖のための準備を進めるべきではないか。

答 開設当初の平成十年度は、収益があがったが以後毎年売り上げが低下し赤字が続いている。赤字削減のため、新年度からナイ



ポートピア川崎

ターレースの九十日開催等により売り上げ増加を図り収支の改善を期待する。また、開設時の経過等を考えればばらく様子をみたい。

個人質問

山本和市（無党派）

平成十六年度
予算大綱について

問 市税等の滞納が非常に増えているが、徴収について法的な措置を取るべきではないか。

また、競艇事業での岡崎市交付金のその後の交渉経過と今後の見通しはどうか。

答 税の公平性を保つため長期、大口、悪質な滞納者に対し、差押え等の法的手段を講じていきたい。交付金については、岡崎市も売上げに対する配分から収益に対する配分でやむを得ないという感触に変わってきている。今後最終決

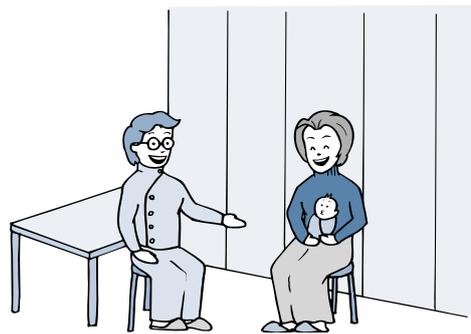
問 繊維産業振興の今後の方向性について伺う。

答 究極的には「提案型産地づくり」を目指しており、どこにも負けないモノづくりと併せて、企画力提案力の強化が必要である。当面は地域ブランドとして商標登録した「夢織人」での展開を進めていく。

日恵野佳代（日本共産党）

障害を持つ乳幼児の
発達支援について

問 ふれあいの場に保健師や心理相談員も配置できないか。また、運営・指導に児童課が責任を持つべきではないか。幼稚園に通う障害児へのフォローにつ



いての考えはどうか。

答 十六年度に心理相談員による相談を実施する。運営・指導は、児童課を中心に取り組みたい。幼稚園へは研修会や専門機関の指導の際に参画を呼びかける。

消費者保護行政の充実を

問 悪質業者から市民を守るために消費者行政の充実を求める。

答 出前講座のメニューに「消費者トラブル」を加えて啓発に努める。

その他の質問

1 若者の居場所づくり

松本昌成（公明党）

災害時要援護者の登録と競艇に依存しない財政を

問 災害が発生した場合に援護を必要とする者を事前に登録しておく制度を、豊田市では十六年五月から開始すると発表した。本市でも開始すべきではないか。



答 制度創設に向けて研究検討をしたい。

問 競艇収益が減少しているなか、競艇に依存しない財政運営が必要ではないか。

答 今後は多くの競艇収益は望めないで、財源確保のため、人件費の削減、施設の統廃合、事務事業の見直し、アウトソーシング（民間に外部委託）など更なる行財政のスリム化が必要と考えている。

アウトソーシングについては、保育園、給食センター、図書館、勤労青少年ホーム、体育センター、市民会館、勤労福祉会館等を対象に十六年度にプロジェクトチームを設け検討したい。